

こども社協すずか

No.12
2025
2月

こんにちは！**鈴鹿市社会福祉協議会**です！

いよいよ2月になりました。長かった1年間も、残すところあとわずかですね。

今年度も福祉体験学習やワークキャンプで、みなさんとお会いすることができうれしかったです。来年度もみなさんの学校でお会いできるのを楽しみにしています。

今回は「小さな本棚」や福祉に関する本についてご紹介します。

鈴鹿市内全ての小学校（30校）、中学校（11校）、高校（7校）、特別支援学校（1校）に令和6年9月より『小さな本棚』が設置されました！！

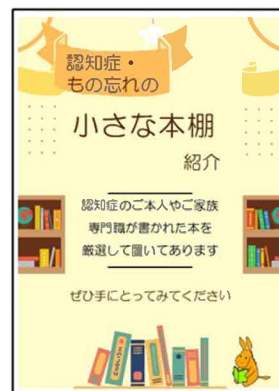
『小さな本棚』って？

認知症に関する本を気軽に手に取れ、情報を得たり、学んだりできる本棚です。

小さな本棚の本は鈴鹿シティロータリークラブ様より

「子どもたちに認知症に関する理解を深めてほしい」

という想いで、寄贈していただきました。



本には認知症ご本人が書いた本、認知症の方への接し方の本などが設置されています。

みなさん『小さな本棚』を通して認知症について勉強してみてくださいね♪



あさひ おかしやうがっこう
旭が丘小学校



きぞうしき ようす
寄贈式の様子



かんべちゆうがっこう
神戸中学校

問い合わせ先

社会福祉法人 鈴鹿市社会福祉協議会 企画総務課 地域共生推進グループ
〒513-0801 鈴鹿市神戸地子町383-1（鈴鹿市社会福祉センター内）

TEL : 059-373-5750 FAX : 059-382-7330



かりんちゃんのおすすめ本



おすすめの本 この本知ってる？



「バスが来ましたよ」

この本は、進行性の目の病気から目がみえなくなった男性・山崎弘敬さんの実話を元に絵本化されました。地域の小学生に助けられながら続けたバス通勤の様子が描かれています。「バスが来ましたよ」その声が、次々と受け継がれていきます。小さなひとこと、小さな手が多くの人の心を動かした小さな親切の物語です。

みなさんの周りで、もし目の不自由な人や、困っている人がいたら、「なにかお手伝いすることはありますか？」と声をかけてあげてくださいね。

そのひとことで、困っている人は安心することができるのです。みなさんも読んでみてください。

図書館司書



図書館司書のお仕事は、図書館に来た人に本を貸し出したり、探している本を見つける手助けをしたり、本を整理したりすることです。図書館に来られない、体の不自由な人やお年寄りのために、本を届けることもあります。図書館に入れる新しい本を選ぶのも、図書館司書のお仕事です。みなさんも本をたくさん読んで、おすすめの本を見つけてください。



出典

- ①「たっちゃんぼくがきらいなの」(作:さとうとしなお/絵:みやもとただお/出版社:岩崎書店)
- ②「さっちゃんのまほうのて」(たばたせいいち・のべあきこ・しざわさよ共同制作/出版社:偕成社)
- ③「わたしの足は車いす」(作:フランツ=ヨーゼフ・ファイニク/絵:フェレーナ・バルバウス/訳:さきさたづこ/出版社:あかね書房)
- ④「どんなかんじかなあ」(文:中山千夏/絵:和田誠/出版社:自由国民社)
- ⑤「バスが来ましたよ」(文:由美村嬉々/絵:松本春野/出版社:アリス館)